



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けては改めて原爆の恐ろしさを感じました。その恐ろしさを実感したのは池田義三さんの体験の話聞いたときです。くらってしまった人は月丸が焼けて黒くなったり手の指の皮や肉がはがれた水さがつたり自力で...助け...と手をたさげながら言ったりと恐ろしいことばかりで鳥肌が立ちました。原爆は超で命を吸いこんでしまうブラックホールのようなと思いました。また死んでない助かった人までも心を痛めるということも義三さんのお話でわかりました。また、灰だらけになった景色や崩壊した建物を資料で見るとこのおなところまで被害が及ぶということがわかりました。原子爆弾が100万もあり、太陽の表面温度6000℃よりも上たとも言葉に表せないほどに熱いということがわかりました。1ヶ月蔵の水分が蒸発して炭化してしまうと灰状態になってしまえばはようげき波までが人間をおろすことがしょうげき的でした。また、死者が35万人中14万人もいて死亡率は40%も多かったことにおどろきました。原爆資料館で義三さんが「怖いすぎる」と言ったのが印象的でした。なぜなら本当はもっとたないのを義三さんは経験しているからです。原爆は本当に恐しく、落としてはならないものだとはわかりました。せくなってしまった人々は本当にかわいそうだと思いました。ぼくは原爆先生の授業を受けることで原爆の恐ろしさやもうやてはいけないことを知ることができました。これからは友達や家族に原爆の恐ろしさを具体的に伝えたいと思いました。このように思うことができたのは義三さんと原爆先生のおかげです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講したくさんのことを知りました。
原子爆弾投下都市の条件は、①直径5kmを超える ②平野で
あること ③空襲がなかった。それら3つの条件がなければ、東京などに
落とされていたのかもしれない。もし落とされていたら、どうなっ
ていただろう。あのきれいな東京都心、心がずて火焼けめちゃくちゃに
なる。人々もほとんどすべてが火焼け死んだだろう。それを考えるだけで、
とてもこわい。私は、ビデオを見て、とてもこわいと思った。でも本当は、こわい
ところではないだろう。広島に「原子爆弾」が落とされる前は、ぎやがた木
が落とされてすべてが一瞬にして変わった。まるで火の海のように。
そして助けが来た。でも助けることが出来ない。手をさし出しても
皮膚がとれ持ち上げることが出来ない。たぶんの人々が助けを
求めているけど、助けられないのはとてもつらいと思う。今は原爆
資料館にこの悲劇がある。そこに原爆が落とされた時
の人々の様子がある。まるで人ではないような様子なのに「助けい
きる」と言った人がいた。その人はあの時、助けていた池田義三
さんだ。私は想像出来なかった。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受けてたくさんを知りました。原子爆弾にはラジオゾンデをつけて落とす、リトルボーイは「300キロ」のスピードで飛ぶ、などを原爆先生が教えてくださいました。原爆先生の授業はとてもわかりやすかつたし、聞きやすかつたです。授業の中では、クイズなどもあつてわかりやすかつたです。原爆先生がこのゆくのき学園にきてくださったおかげで、たくさんのおことがあつたし、とても勉強になりました。原爆先生で、広島市の人口35万人で被爆者数24万人そして、死者数が14万人と聞いた時は、とてもびっくりしました。しかも、死亡率40%もなつていて、爆弾は怖いなと思ひました。5人に2人が原子爆弾でせくなつてゐる。原子爆弾のことについて知れたし、原爆先生の授業で、たくさんのおことを知れたのでよかつたです。おかげで6年生に授業を教えにきてくださり本当に、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾は、手でもてるほどの大きさだと思っていたけれど、
3.12米もあって重さが5トンもあるのに、びっくりしました。9632米
で日本票地点から6kmもはなれた場所です。この原子爆
弾が落とされた、凄く大きな人々が亡くなりました。
し、原爆先生のお父さんも泣いていて、助けを求めて
いる人も助けが来なくて、とても苦しうにしていたから、
があれうだった。助けを求めている人々に手をかしてあげて
も皮膚がはがれて、ささやきやがれおちて痛い。痛いよお
と泣く人々がいて、ただただぼろぼろと立ちまわっていた
けれど、600mの高さなのに、なぜこんなに人々が亡く
なってしまうのかと言うと、太陽の温度は、6000℃原子
爆弾の爆発直後の表面の温度は、7000℃太陽
よりも1000℃も高い温度が高さ600mの所に直径200m、
中心の温度は、なんと、100万℃その真下の地面の温度は、
3000℃人々は、体の中の水分が蒸発して、爆発の震動
で蒸発した人が石皮壊されて、それを目撃した人は、蒸
発して消えた。そんなふうに見えたそうです。原爆先生
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆は、とてもおそろしいことを改めて、知ることができました。そして、この学習で、くわしく知ることができました。初めに、爆弾を落とすこうほになった都市は①広島②小倉③長崎そして他にも横浜 新潟 京都のうち、初めは京都に落とす予定だったが文化財があったことではすされました。最終的には広島に落とされました。約57の爆弾をのせたエラケイは、リトルボーイなどの機械などいろいろな爆弾がつけました。リトルボーイは9632mのところから、時速300kmで落ちることに驚きました。ぼくは原爆にあった人は、ものすごくかわいそうでした。皮膚がこすれてすごくいたなっていたんだなと思いました。原子爆弾は直径200m、温度はなんと、100万℃にもなることが分かりました。そして衝撃波は毎秒500m、音速は350mなので、すごく速いことが分かりました。リトルボーイはウランという牛糞が原料で、それが1kgだったことが分かりました。ぼくは、原爆先生の授業を受けて、原爆の恐怖さ、命の大切さを知ることができました。ぼくたちのために原爆について分かりやすく教えていたときありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受け初めて
矢張り、たことが三つあります。一つ目はリトルボーイと言う
原子爆弾が広島に落とされたことが分かりました。
二つ目は上空600mでリトルボーイが爆発した事です。
三つ目はリトルボーイの爆発したときの中心温
度が100万℃の熱さだ事です。半径100mでは太陽
の表面の6000℃よりも1000℃高い7000℃だ事です。
土の上では3000℃だ事です。

ぼくの心に残ったことは、土の上にはいた人たちは
熱気象をうけ、体の水分がなくなり、炭になり、
しょうじき液をうけて、粉こぼれになり、しまうこと、
放射線を受け、病気になる、そして死んでしま
う、人がいることです。

原爆先生が来てくださり、たおかげで、ぼくはとも
勉強になりました。ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生から初めて原爆ドームサリトル
ボーイの言話をうかがってすごくびっくりしました。よく知
ったことは、サリトルボーイが300Km/時で落ちることがわか
い。そのことをぼくは知り、恐怖がおとされました。
ビデオなどを見たり言話を聞いたりして少し緊張感
を持って聞いていました。その中で池田義三さんからのビ
デオの言話を聞いている時に涙が出そうになりました。自分
の中では広島の人達はかわいそうだなと思いました。
ぼくはもう原爆ドームなどの話は一回も聞きた
ないと思いました。おかげでかんばって聞きました。おかげ
でとても怖く、いことが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて思った事は、
原爆のひさんさです。被爆者の手をにぎって助け
ようとしたという話 で被爆者の手をにぎったら
手の皮心がむけたという話を聞いてぼく
は、鳥肌が立ちました。もう一つ、こわい
と思った事は、投下された爆弾が爆発
したときに人が一瞬にして消えたという話
で、いったい7000℃というのは、どれだ
け暑かったのかどれだけ苦しかった
のか考えただけでこの話も鳥肌が
立ちます。ぼくは、この学習をとおし
て思った事は、原爆がどれだけおそ
ろしいのかという事も学びました。
ぼくは、爆弾を使って人を殺しても
何も意味がないと思いました。
これから原爆のおそろしさをちゃんと
心におさめておこうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生授業で「ぼくは戦争はいけない物だ」と改めて
 分かりました。原爆が落とされたのは広島市でした。広島の人々の死
 亡の人数は14万人でした。2万人は一日で死んでしまった人もい
 るそうです。ビルの階段のところによりかがり一日で死んでしま
 った人のシミだけがのこっていたのを映像見て鳥肌が立ちました。
 だからこうして死者を出さないためにももう日本は一生戦争しては
 いけないと心に思った。勉強で分かったことは ①人はすごく
 大切だということ。②絶対に国と国同戦争することはいけ
 ないということ。③けんかのきっかけになるようなことはしない
 ということだ。ぼくは思っています。またが人みんなもそう思っ
 てると思います。

原爆先生のおかげで人生の楽しさや苦しさがわかることになりました。
 それにきをつけて良い勉強になりました。戦争の怖さを教えて
 くれて本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆のおそろしさをよく知ることができました。原爆を体験したお父さんの話を聞いていると、何とも言えない悲しいような怖い気持ちになりました。これが現実でおきたのかと思うと、うそのようで信じられません。きのこ雲の写真を見た時、よくまん画で見るとようなものだったのが、やはりこの日本でおきたということが信じられませんでした。原爆資料館で被爆して、皮膚がとけている人形を見たお父さんの「きれいすぎる…」という言葉が心に残りました。当時はもっとひどい状況だったんだなと思いつながり話を聞いていました。おそろしい原子爆弾がまだ世界にあり、いかに昔よりもさらに強くなっているというのを聞いて、もう絶対に原爆を使ってはいけなさと改めて思いました。この授業を受講して、戦争は二度としてはいけないと強く思いました。原爆先生、授業をしていただき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原火暴先生の授業を受けて、広島と長崎に
落された原子爆弾(リトルボーイ)の怖さを知ることができ
ました。原火暴を体験した池田 義三さんのことにつ
いて息子の池田 貞徳さんが一生懸命教えてく
れて、色々な学びを得ました。義三さんが「助か
て、助けて」と言う人を救おうとした時皮ふが
とれた」などのことを言て、鳥肌が立ちました。
B29火暴撃機 エノラ・ゲイがリトルボーイを
落した映像を見て、一瞬にして町全体が火の海
に包まれてすごく怖かったです。原子爆弾
を落とすところには条件があり、直径5kmを起
える大都市、平野予であること、空襲を受けたこ
とのない若中市の三つです。候補になった都市
の内、京都は文化や歴史があるため落とさない
とになった。ラジオゾンデとは空中の気候などリ
トルボーイを落とすのに最適な状況を知るための
ものです。衝撃波の速さが秒速500mと聞い
たときびっくりしました。今日はぼくたち私たちに
色々なことを教えてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて分かった事があります。リトルボーイという爆弾があることが分かりました。そして、原爆ドームは、今ものこっていて、私はその原爆ドームを見たことがあるので、今でもたおれそうなほど黒くてこげていました。でも、今までずっと建っていることがすごいと思います。衝撃波の速さは毎秒500mで、音速は350m/秒だそうです。そして、広島市人口35万人なのに、被爆者数24万人死亡者14万人です。そして死亡率は40%です。広島の人々が35万人で、多くの被害者がでてしまっ、て、死んでもおそろしいことを知りました。そして、ビデオを見て、外の石でできた階段にすわっていて、いっしょんでいなくなっ、て、黒いかけみだいのだけがこのこ、っていたと言うところがこわかったです。原爆ドームの中も、このようなおそろしいのが知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、ぼくは原子爆弾はとしてもこわいと思いました。ゴルフボールくらいのウランが燃えただけで広島がはいされた事を聞いて、60kgのウランが全部燃えたらどうなるんだろうと思いました。最初は題名の7000人の少年の意味がよく分からなかつたけど、話を聞いた後は7000人の少年の意味が分かりました。7000人の少年は、7000人で爆発したリトルボーイの事だと思いました。そして、原子爆弾はふ、つうの爆弾と違って熱線、衝撃波、放射線、この三つの力がある。特に三つ目の放射線は熱線や衝撃波と違って生き残った人も病気にさせるので、原爆は生き残った人にもえいきょうすることを知って3月1日に事故があった福島第一原発から出た放射線がぼくたちに降ってきていると思うとこわくなりました。そして原子爆弾を落とされる原因にもなった戦争は糸色対にいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の言葉を聞いて、色々なことを学びました。
 たとえば、リトルボーイの燃料はウランやプルトニウムであると
 わかりました。広島に原爆投下を見た時
 は、心が折れそうになりました。一番おろおろする場所は
 広島で二番目が小倉で三番目が長崎だ、たそうです。
 そのほかにも木更津や新潟と京都が「おろおろ
 したそう」です。原子爆弾投下都市の条件の一番は
 直径5kmを超えていること、二番目が平野であること、
 三番目が空襲がなかったこと。リトルボーイが爆発した
 瞬間の中の温度は100万度でびっくりしました。
 その爆発の衝撃波の速さは、毎秒500mで音
 速は350mなので150mもちがいます。爆発で多くの死
 者が出るものは熱気象と衝撃波と放射線が多くの死
 亡の原因でいます。この話を聞かせてくれてありがた
 うございます。また機会があれば、原爆先生の話を聞か
 せてください。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島と小倉と長崎に原子爆弾がおとされると聞いて最初びっくりしました。広島だけにおとされると思っていたのでそこにびっくりしました。なんで京都が爆弾をうけるのたろうと思っていたけれど京都がそんなにわらわられていたのだと思うと京都の人はすごく恐怖だったんだなと思いました。原爆先生のお父さんは人々を救うためにすごくがんばったんだなと思いました。広島にはリトルボーイという爆弾をおとしたと原爆先生から聞いたけどいつかの爆弾がおとされたのだと思いました。リトルボーイはそこにおとしたら直線で行くことが出来るんだなと初めて知りました。太陽が6000度だけれど爆弾は+1000度だと原爆先生に聞いておどろきました。原爆先生のお話を聞いて原爆先生のお父さんはこんな体験をしたんだと原爆先生のお父さんがかわいそうだったと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、初めて原爆のおそろしさをしり、なんておそろしいんだ、その場所^{場所}にいた人がかありそうに思います。すごい音やヘリコプターの音もしたと思ひます。その人たちの気持ちになるとすごいがあらうなと思ひ、なにもしてないのにと思ひます。池田義三さんの動画を見とみると義三さんが火傷をしてる人を、且かけることができなかつた、言つて、もし自分たつたら、一生あきらめられないと思ひます。ぼくは、もう原爆がおまてほしくなり、いろんな人に死んでほしくなりと思ひました。原爆先生の話をきかせていたたいて、すごくあかりやすく、火傷した人がすごくかありそう。で義三さんのお話を一生あきらめないで心に入れておきたいと思ひます。池田真徳さん原爆のお話を一生あきらめません。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受けて初めて知ったことがたくさんありました。それは原子爆弾をおとす場所を、決める時に3つの条件があわないとおとせないということでした。

ビックリしたことがありました。それは原子爆弾がおちた時に、熱気、衝撃波、放射線が出てきて、それをあびた人が消えてしまうということがとてもビックリしました。あと、広島に投下された原子爆弾が、他にもあることと、外国の飛行機は爆弾をおとした時に、ぐいにげないといけないうこと、そのために、高度をきょうげきに下げないといけないうことがビックリしました。

原爆先生のお父さんがその時の様子を話している、その時の場面がとても想像できました。想像するととても、かない気持ちがかこみあけてきました。

原爆先生の話を聞いて、とてもいい勉強になりました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原火暴先生から学び、原火暴はとても危ない物だと思いました。たくさんの被爆者が出たり死者が出ています。その死者数は14万人です。ぼくは二の原火暴の言話を聞いて背筋がゾクゾクしました。ぼくは今生きている人は自殺などしてはいけないと思いました。生きているのはすごくありがたいことだと思いました。もう二度と原火暴は落ちてほしくないです。原火暴の衝撃波の速さは毎秒500mだ、たのでとてもおどろきました。音速よりも速いのでびっくりしました。原火暴先生にとてもいろいろなことを考えてもらえたのでとてもうれしかったです。原子爆弾投下都市の条件は①直径5kmを起える。②平野であること③空襲がなかった。ぼくが知りたいことはなぜ原火暴を日本に落としたのか。なぜかと言えどほかにも国があるからです。ぼくはまた原火暴先生の特別授業を受けたいです。原火暴のおそろしさを知れてよかったです。